

科目名	小児看護学課題研究Ⅰ Special ResearchⅠ in pediatric Nursing		担当教員 (研究室番号)	宮崎 つた子 (207) 前田 貴彦 (206)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修 年次	1年次 後期	科目 区分	専門科目		選択 区分	分野 必修	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	特別研究	科目等 履修生	否
											遠隔授業	一部
科目 目的	小児看護学分野の演習や臨地教育実習Ⅰなどから生じた疑問について、関連文献等を抄読し、自己の課題研究の課題の設定や課題に沿った計画を立案する一連の過程について学ぶ。											
ディプロ マ・ホリ ン (DP)	主要なDP	3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追及していける研究能力を身につけている。										
	関連する DP	6. 看護実践の場における看護専門職者や看護学生に対する教育能力を修得している。										
到達 目標	1. 小児看護学分野とその関連分野における臨地教育に関する課題を設定することができる。 2. 設定した課題を検討するために必要な方法を選択し、課題研究計画を立案することができる。 3. 必要に応じて課題研究計画書に倫理的配慮を含めることができる。											
成績評価方法 (基準)	プレゼンテーション (50%)、研究計画 (40%)、取組み状況 (10%)											
教科書	特に指定しない。											
参考書等	必要時に提示する。											
受講者への メッセージ	学生指導や新人指導などで感じた疑問を振り返り、計画書を作成していきましょう。 受け身ではなく、主体的に取り組んで下さい。											
備考	1年次後期に中間審査を受審することが望ましい。											
学 習 内 容												
【到達目標1について】 - これまでの演習や臨地教育実習Ⅰの中で生じた疑問をまとめゼミナール等でプレゼンテーションを行い、ディスカッションを通して課題を明確にしていく。 - 自己の課題に関する文献検討を行い、課題研究として検討するべき課題への絞り込みを図る。 【到達目標2について】 - 課題研究として検討すべき目的とその背景まとめる。 - 課題に整合する適切な方法を選択し、課題研究計画書を作成する - 作成した課題研究計画書について、ゼミナール等でプレゼンテーションを行い、ディスカッションを通して内容を洗練する。 【到達目標3について】 - 研究倫理審査の受審も考慮し、倫理的配慮についても検討し、必要に応じて課題研究計画書に反映させる。												